
**令和2年度 第2回
川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会
議 事 要 旨**

【日 時】 令和2年9月30日（水） 14:00～14:40

【場 所】 川口市役所第一本庁舎5階501会議室

【出席者】

1 委 員

田中委員（委員長）、新谷委員、福嶋委員、相澤委員、永瀧委員、中島委員、小川委員、松本委員、小巻委員、吉田委員、片山委員、森田委員

2 事務局

藤波部長、須佐次長、小柳補佐、蛭名補佐、神田補佐、市村補佐、金子補佐、片岡補佐、菅野主任

【日 程】

1 開 会

2 議 題

- (1) アンケート調査（速報値）・意見交換会の結果について
- (2) 現行計画施策・事業の進捗状況の結果について
- (3) 次期計画の骨子（案）について

3 閉 会

【配布資料】

- ・川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 委員名簿
- ・第2回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 席次表
- ・資料1－1 川口市障害福祉に関するアンケート調査（速報値）
- ・資料1－2 「川口市障害者自立支援福祉計画・障害児福祉計画」策定のための意見交換会 実施結果
- ・資料2－1 川口市障害者福祉計画（2018～2023） 第5期川口市障害者自立支援計画・第1期川口市障害児福祉計画（2018～2020）進捗状況報告①
- ・資料2－2 〃 進捗状況報告②
- ・資料2－3 重点施策・基本施策の進捗状況
- ・資料3 第6期川口市障害者自立支援福祉計画・第2期川口市障害児福祉計画（構成案）
- ・参考資料1 国の基本指針の一部改正について（概要）

[議事要旨]

1 開 会

委員及び事務局の紹介、委員長より開会の挨拶が行われた。

2 議 題

(1) アンケート調査（速報値）・意見交換会の結果について

【質疑応答・意見】

(委 員) 資料1-1の3ページ問11、成年後見制度やあんしんサポートねっとが入っていてもよいのではないか。5ページ問18、文化芸術活動はあるが、スポーツはなくてよいのか。6ページ問20、入所施設を入れるべきではないか。7ページ問23-1、施設だけではなくグループホームでも該当する選択肢があるので精査する必要がある。52ページ、市民は総論賛成、各論反対ということがあるので、近隣に施設ができることに対して、どのように考えるかを追加したほうがよいのではないか。58ページ問10、ADLだけではなく、高齢化の視点から認知症も聞いた方がよいのではないか。

(事務局) アンケートは終了しているため、ご意見は3年後に活かしたい。3ページ問11は、選択肢が多くならないよう、その他で対応することとしている。5ページ問18、文化芸術活動は、障害者の社会参加を支えるということで、国の基本指針で示された項目に基づき追加したものであり、まずはどのような興味を持っているのかを把握するための設問とした。6ページ問20について、施設ではなく住宅という視点から設計した。7ページ問23-1、52ページ、58ページ問10へのご意見については、3年後に活かしたい。

(委 員) 資料1-1の13ページ問35のサービスについて、知らない・わからないの回答が多いが市として、どのように考えているのか。いざという時に備えて、市民全員に知ってもらえるようにすることが必要ではないか。

(事務局) 問35はサービス見込み量算定のための設問である。すべてのサービスを知っているわけではないので、その部分は相談支援体制を充実させ、対応していく。

(2) 現行計画施策・事業の進捗状況の結果について

【質疑応答・意見】

(委 員) 資料2-1の12ページ78番、取組にあたっての課題の文章が理解できない。

(事務局) 入所施設の利用者及び待機者については重症者が多く、入所しても退所できる状況にない。言い換えると、地域移行の対象者となり得る方が入所していない状況にある。

(委 員) 資料2-1の20ページ129番、福祉避難所について、どのような締結内容なのか。避難所としたときの入所者の取り扱い、感染症対策などはどのようになっているのか。

(事務局) 小学校・中学校などの避難所の福祉スペースで避難生活を送ることができない方のために、福祉避難所が開設される。主に障害者・高齢者で支援が必要な方が対象となるが、福祉スペースで自力で生活できる方は対象外となる。感染症対策は防災課で検討中である。福祉避難所には別に避難スペースを指定し、そこで新たに3～5人程度を受け入れることになる。

(委員長) 資料2-1の18ページ118番、取組方針について、アンケート調査結果では、重度者を受け入れるには職員の研修と加算が必要とあるので、研修や加配を入れた方がよいの

ではないか。

(事務局) 研修については事業所に希望を聞きたい。加算については国に働きかける方法を検討する。

(委員) 資料2-2の2ページ4福祉施設から一般就労への移行等について、一般就労をリタイアし、福祉施設での就労にどのようなつながっているのかを調査等で把握すべきではないか。13、14ページの就労移行支援について、姿が見えてこない。社福ではなく株式会社が増えてきている。この状況を踏まえて、就労移行支援の施策をどう評価するのか。

(委員長) 資料2-3の1ページの1の1つ目の「■障害者が～」について、他の記載とバランスをとるため、施設を1箇所整備した旨を入れてはどうか。また、3つ目の文章は同じ住宅施策のため、一緒にしてもよいのではないか。

(事務局) 施設整備について、市としては補助金により法人に整備をしてもらっているの、このような表現としている。

(委員) 3つ目の文章は、「親亡き後のみならず」という考えが必要と議論して、この文章を作成した覚えがある。

(委員) 資料2-3の7ページの①保健活動の充実について、双極性障害（躁うつ病）を入れてほしい。

(事務局) 市保健所と連携して検討する。

(3) 次期計画の骨子(案)について

【質疑応答・意見】

なし。

3 閉会

事務局より、次回の予定について連絡があった。

以上